大阪科学・大学記者クラブ・行政機関広報担当　各位
（同時資料提供＝大阪経済記者クラブ）

NEWS RELEASE

2018年3月12日配信【№21】　≪配信枚数　4枚≫

大阪工業大学梅田キャンパスにおける
都心型オープンイノベーション拠点の創設について

○　大阪工業大学（学長：西村泰志）と大阪商工会議所（会頭：尾崎裕）は、大阪工業大学梅田キャンパスのロボティクス＆デザインセンターに、大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、社会人、学生などの多様な主体による都心型オープンイノベーションを支援する拠点を４月２３日に創設します。両者は、同拠点を運営するための団体を新設し、オープンイノベーションによる課題解決、新規事業創出に向けたマッチング支援や、産業人材の育成などのさまざまなプログラムを実施していきます。

○　課題解決のアイデアは、本社や中央研究所から離れ自社の既定路線に関係なくチャレンジできる「出島」的な環境や、多様な主体が交流する場から生み出されることが多いと言われます。また、新規事業創出においては、「ユーザー中心主義に基づきアイデアをいち早く試作品として見える化し、修正しながら仕上げていく」という、デザイン思考が注目されています。

○　大阪商工会議所は、多様な主体への幅広いネットワーク、産学・産産マッチングの豊富な実績を有しており、同拠点では、多様な主体の交流や「出島効果」の発揮を促進し、新規事業の創出を支援します。一方、本学梅田キャンパスでは、本学の教員および米国シリコンバレーからの客員教授がデザイン思考を指導し、約１００人がワークショップを行える約１，０００㎡のスペース、各種の試作機器（３Ｄプリンター、レーザー加工機、ＣＮＣ加工機など）も備えています。本学は、同拠点を「学生が実社会課題に挑戦し、革新的なアイデアを創出するイノベーション人材育成拠点」と位置付け、新しいエンジニア教育プログラムの開発に取り組みます。

○　具体的には、①新規事業創出に関する課題を解決したい企業（幹事企業）がテーマを示し、他の企業などとチームを組成してデザイン思考の手法で課題解決を促進する「フューチャー・ラボ」、②他社と連携して事業化したいビジネスプランを発表し、連携を希望する企業とマッチングする「ビジネスプラン発表会」、③学生がユーザー・若者視点で企業の課題解決を提案する「産学連携ＰＢＬ（Problem-Based Learning：課題解決型学習）」などを実施します。

○　同拠点は会員制で運営し、メンター、アドバイザー、支援パートナーにもご協力いただきます。
今後、参画者を募集していきますが、現時点での賛同者は以下のとおりです（順不同）。

【会員企業】
大和ハウス工業㈱（幹事企業）／㈱エディオン／大阪ガス㈱／㈱博報堂／日立造船㈱／
㈱三井住友銀行
【アドバイザー】
大阪工業大学 教授 本田 幸夫／大阪工業大学 教授 松井 謙二／
大阪大学 教授 森下 竜一 氏／京都大学 教授 椙山 泰生 氏
【メンター】
㈱ＱＵＡＮＴＵＭ 井上 裕太 氏／合同会社ＳＡＲＲ 松田 一敬 氏／
㈱Ｄａｒｍａ Ｔｅｃｈ Ｌａｂｓ 牧野 成将 氏／㈱日本総合研究所 東 博暢 氏／
㈱ペイフォワード 谷井 等 氏
【支援パートナー】
大阪府／大阪市・大阪イノベーションハブ／近畿経済産業局／
（一社）関西ニュービジネス協議会／㈱ＱＵＡＮＴＵＭ／日本ベンチャーキャピタル㈱／
ハックベンチャーズ㈱／ＦＡＡＶＯ大阪／㈱マクアケ

以　上

＜添付資料＞大阪工業大学梅田キャンパス　都心型オープンイノベーション拠点　概要

■内容に関するお問い合わせ
大阪工業大学　ロボティクス＆デザイン工学部 システムデザイン工学科（担当：松井 謙二 教授）
TEL:06-6147-8538／大阪市北区茶屋町 1-45
※松井教授が不在の場合：ロボティクス＆デザインセンター（担当：梶）TEL:06-6147-6436
■本件発信部署・取材のお申し込み先
学校法人常翔学園　広報室（担当：松下、上田）TEL：06-6167-6208、携帯：090-3038-9887

大阪工業大学梅田キャンパス　都心型オープンイノベーション拠点　概要①

■目的

大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、一人メイカー、学生等との出会いの場を創出し、オープンイノベーションによる課題解決、新規事業創出を支援するとともに、産学連携を通じたイノベーション人材教育を行う。

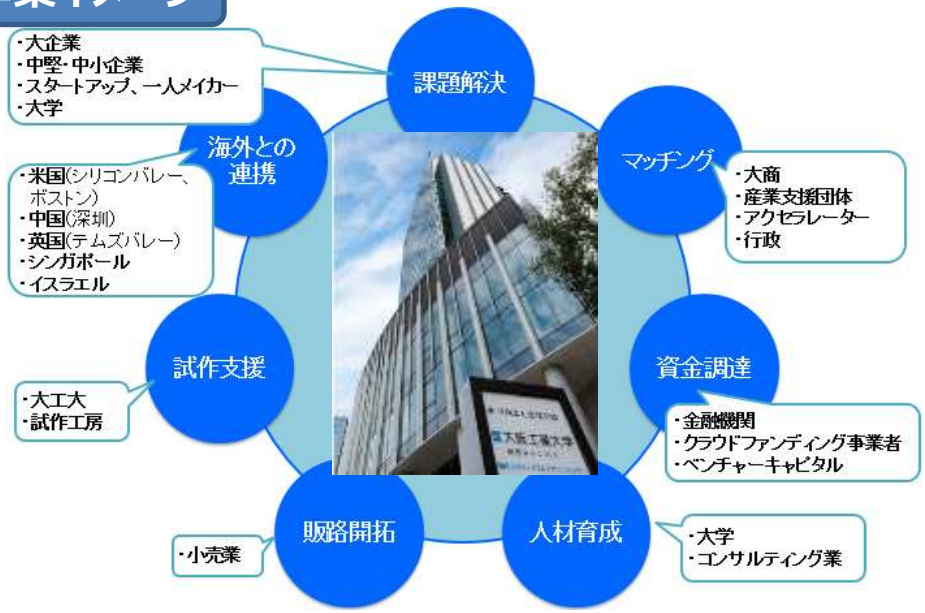
■開設予定

2018年4月23日

■事業目的

1. 多様な交流機会の創出
2. 企業の課題解決をテーマにした新規事業の創出
3. デザイン思考の習得とイノベーション力の向上
4. アイデアを持った一人メイカーの支援・育成
5. ビジネス創出の実体験を通じた次世代人材の養成

事業イメージ



運営体制

事業主体	任意団体
所在地	大阪工業大学　梅田キャンパス内 （大阪市北区茶屋町1番45号）
運営主体	・大阪商工会議所 ・大阪工業大学
主要事業	1. 交流事業 （1）課題解決プラットフォーム「フューチャー・ラボ」 （2）ビジネスプラン発表会 （3）ネットワーキングプログラム※ （4）産学連携PBL（Problem-Based Learning：課題解決型学習） 2. 研修事業 （1）「デザイン思考」講座 （2）「イノベーションメカニズム」講座 （3）「モノづくり企業のための知的財産入門」 3. 試作支援事業 4. 海外連携プログラム 5. 知財関連アドバイス
会員制度	会員の年会費は企業規模に応じて設定 会員企業のうち、本拠点の利用者はユーザー登録が必要

※大商事業の一部も拠点と共催で実施する

大阪工業大学梅田キャンパス　都心型オープンイノベーション拠点　概要②

会員区分・料金体系

会員の年会費（幹事企業を除く）は企業規模に応じて設定※1。会員のうち、本拠点の利用者はユーザー登録が必要

会員の種類	幹事企業	大企業	中堅・中小企業	スタートアップ、一人メイカー、学生
年会費※2	300万円	50万円	5万円	無料
フューチャー・ラボ	企画○ ／ 参画○	× ／ ○	× ／ ○	× ／ ○
ビジネスプラン発表会	発表○ ／ 参加○	○ ／ ○	○ ／ ○	○ ／ ○
ネットワーキング	○	○	○	○
PBL	○	○	○	×
研修	講座により個別に設定			
試作支援	フューチャー・ラボの参加メンバー			○※3
海外連携プログラム	○※4	○※4	○※4	○※4
知財関連アドバイス	案件により個別に設定			

※1　メンター、アドバイザー、支援パートナー等への相談で、会費とは別途、実費や報酬が生じる場合あり
※2　開設年度の年会費は上表の通りだが、拠点の事業規模に応じて変動する可能性あり
※3　フューチャー・ラボの参加メンバーでなくても、ビジネスプラン発表会で、大企業や大阪工業大学の専門家から関心、評価が高かったスタートアップ、一人メイカー、学生等は利用可
※4　渡航費、一部プログラム参加費は別途要